

令和2年6月19日

委員会・会議 出席者 各位

(一社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部
支部長 吉津洋一

(一社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部での会議開催について

新型コロナウイルス感染症について、現在は感染が落ち着きを見せていますが、第2波・第3波を回避するために、引き続き、感染防止対策に取り組む必要があります。

当支部での委員会・会議開催においては、「密閉」「密集」「密接」を避け、ソーシャルディスタンスを確保し、新しい生活様式を考慮した感染拡大予防ガイドラインを作成し、ご出席の各位とともに当面の間、感染拡大を予防したいと考えています。

<感染拡大予防ガイドライン>

1. 密集回避策

- ・委員会や会議などは会議室面積を考慮し推奨最大定員を14名に設定する
- ・14名を超える場合はオンラインの活用を検討する

2. 密接回避策

- ・委員会や会議出席者はマスクを着用する
- ・一定の距離を保って座席配置する（できるだけ2m（最低1m））
- ・できるだけ近距離や対面に座らないように工夫する
- ・名刺交換は相手のメールアドレスをメモし、オンラインで行うことを基本とする

3. 密閉回避策

- ・窓を開け換気する
- ・委員会や会議を対面で行う場合、マスクを着用し、換気に留意する

4. 衛生対策

- ・委員会や会議の出席時には、手洗いをし、アルコール消毒する
- ・事務局は会議前後にドアノブ、電気のスイッチ、テーブル・椅子などの備品類をアルコール消毒する

5. その他

- ・委員会や会議は、資料の事前配布などにより、開催時間を2時間以内とする他、できるだけ短縮を図る
- ・委員会や会議の主催者は、委員等に対し、参加形態の配慮、感染予防策の徹底に努める
- ・委員会や会議への出席は、所属する会社の感染拡大防止の取組みと自身の体調を優先し判断する（発熱または風邪の症状がある場合は出席しない）
- ・懇親会を開催する場合は、個々の事情を考えて、希望者のみとする。

※本ガイドラインの内容は、厚生労働省HP等を参考とし作成した。今後も、感染症の動向や専門家の知見、対処方針の改定等を踏まえ、適宜、必要な見直しを行う。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成